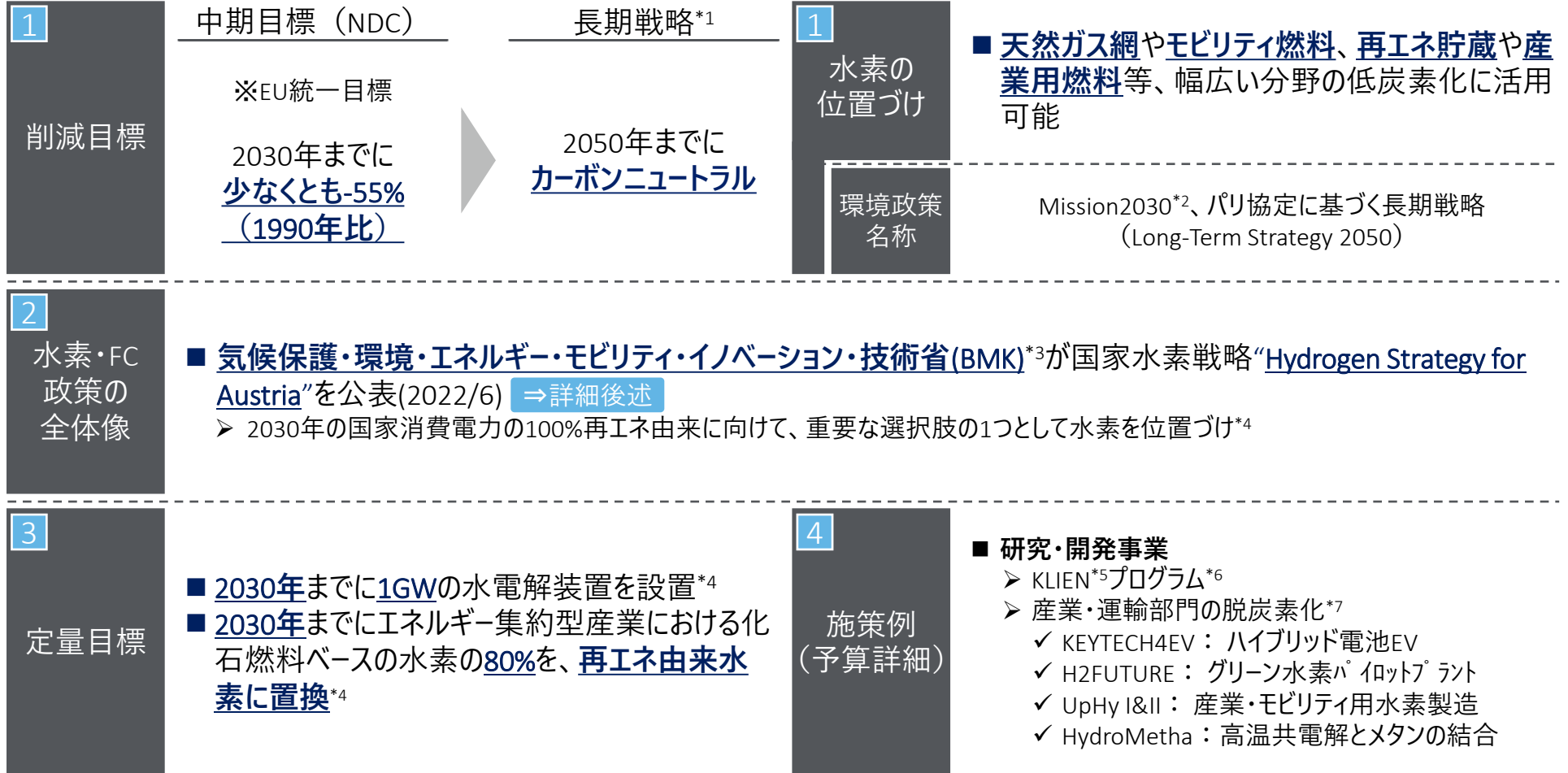




【国・地域別サマリー オーストリア】

気候保護・環境・エネルギー・モビリティ・イノベーション・技術省（BMK）が水素戦略を公表



出典：*1：オーストリア政府“Climate-Neutral by 2040: Foreign Ministry Strengthens Austria as a Business Location and Protects Climate with Green Economic Diplomacy”（2021/10）*2：IEA“Climate and energy strategy “mission 2030””（2020/12）*3：Bundesministerium für Klimaschutz, Umwelt, Energie, Mobilität, Innovation und Technologie *4：BMK“Hydrogen Strategy for Austria”（2022/6）*5：気候とエネルギー基金。気候保護省とEnergy Flagship Region WIVA P&G（水素フラグシップ地域の電力とガス）が連携 *6：BMK“Klima-und Energiefonds (KLIEN)”（2022/11）*7：BMK“energy innovation of Austria, Issue”（2020/1）に記載のプロジェクト



<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

オーストリアは2030年に1GWの水電解装置を導入し、脱炭素化に向けたインフラ構築や研究開発の強化を公表した

名称	オーストリアのための水素戦略 (Hydrogen Strategy for Austria)*1
策定主体	気候保護・環境・エネルギー・モビリティ・技術省 (Federal ministry Republic Austria Climate Action, Environment, Energy, Mobility, Innovation and Technology)
策定時期	2022年6月
目的・位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボンニュートラルの達成に向けて、水素活用のロードマップを示す
戦略実施に向けた方針	<p>水素戦略の実施に向けて、下記の8点のアクションを挙げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主力プロジェクトによるタイムリーな市場立ち上げ ■ 再エネ水素に対する補助金とインセンティブの創出 ■ 将来のビジネスモデルとアプリケーションに対するインセンティブを確立 ■ 水素インフラの構築と輸出機会の創出 ■ モビリティにおける水素技術のさらなる発展を目指す ■ 研究開発の強化 ■ 水素プラットフォームH2Austriaを設立し連携 <ul style="list-style-type: none"> ➢ H2Austriaが水素技術の戦略的方向性を策定 ■ ヨーロッパおよび国際レベルでのオーストリアの優位性の確立
2030年の定量目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2030年までに1GWの水電解装置を設置 ■ 2030年までにエネルギー集約型産業における化石燃料ベースの水素の80%を、再エネ由来水素に置換



出典：BMK “Hydrogen Strategy for Austria”(2022/6)

*1. 原題はWasserstoffstrategie für Österreich